

和牛生産促進事業

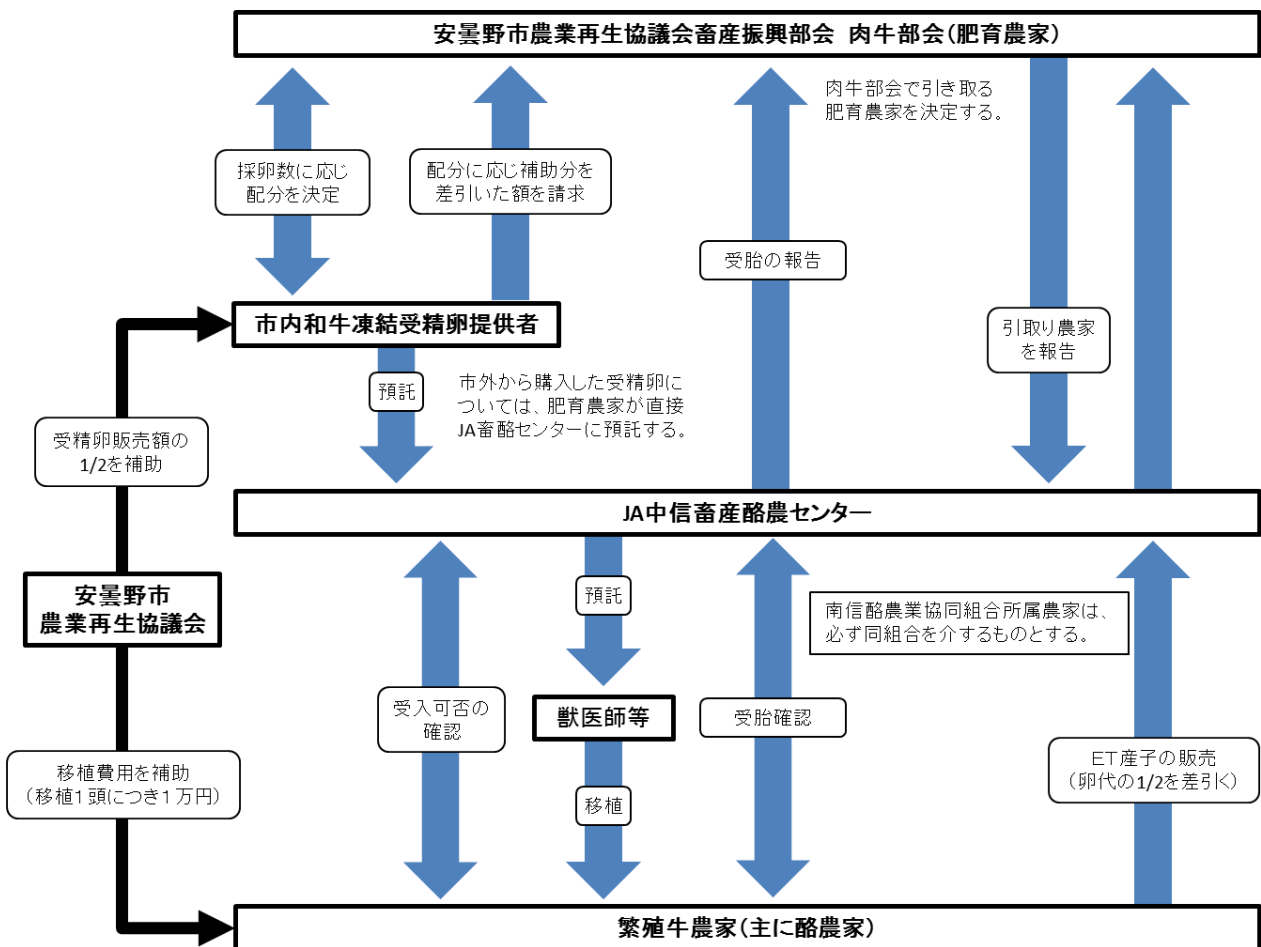
1 課題設定の背景と目的

近年子牛(もと牛)の市場価格の高止まり等により、肉牛農家の経営は厳しい状況が続いている。また市場ではニーズの多様化を背景とし、産地やブランドを重視する動きが強まってきている。よって、安曇野市におけるET技術*を活用した優良牛の生産体系を確立させ、安定した優良和牛子牛を確保する体制の構築及び銘柄化による高付加価値化を目的とする。

安曇野市内で循環する生産体系を確立することができれば、市内の繁殖者(酪農家)は、付加価値のある和牛子牛の生産・販売により所得を増大させることができ、肥育農家(肉牛農家)は、安定した優良和牛子牛の確保が可能となる。また将来銘柄化が実現すれば、地元産牛肉が地域限定の銘柄牛として流通することにより、市内の飲食・食品産業が活性化し、観光産業へ発展することも見込まれる。

※乳用牛の雌に黒毛和種の受精卵を移植、分娩させ、優良黒毛和種の子牛を生産する技術

2 実施方法



※将来的には安曇野市内だけで資源を循環させることが目標であるが、当面は外部から購入した受精卵についても事業対象とする。

3 安曇野市農業再生協議会による農家支援の内容

- 1) 和牛凍結受精卵提供者が市内の肥育農家に販売する額の1/2。
- 2) 酪農家がET受精卵を移植する経費の補てんとして移植1回あたり1万円を補助。
- 3) 全農ET研究所等から和牛凍結受精卵を購入した額の1/2。

4 協力機関

JA中信畜産酪農センター、南信酪農業協同組合